

泉大津市社会教育委員会議

■令和5年度第1回会議の議事概要

日 時：令和5年5月31日（水）午後3時30分～4時45分

場 所：泉大津市役所3階大会議室

出席：車谷委員、木野委員、井上委員、岡崎委員、富山委員、祐仙委員、楠本委員

公開の有無：公開

傍聴者：なし

議 題

1. 議長・副議長の選出について
2. 社会教育関係団体補助金について

報 告

- ① 社会教育委員会議等令和4年度実施報告
- ② 社会教育委員会議等令和5年度実施予定
- ③ 社会教育事業の概要
- ④ 社会教育事業の予算
- ⑤ 教育施設再編計画の策定について
- ⑥ 泉大津市立学校施設の使用に関する規則変更及び要綱制定について

その他

- ① 社会教育関係組織及び担当者一覧

議事概要

議題

1. 議長・副議長の選出について
 - ・社会教育委員会規則第2条の規定に基づき、社会教育委員互選の結果、議長に車谷委員、副議長に木野委員が選出された。

2. 社会教育関係団体補助金について

- ・事務局より社会教育事業の予算について説明。

《主な意見等の内容》

井上委員：各団体への補助金について、増減はあるのか。

事務局：過年度より引き続き、同様の補助金を支出しており、増減はほとんどありません。

教育長：バトントワリング連盟がスポーツ協会に参加していないのはなぜか。

事務局：過去の経緯はわからないが、バトントワリング連盟はスポーツ団体ではなく、社会教育団体として申請したのではないか。今後、補助金全体の見直

しを進め、適切な対応をしていきたい。

岡崎委員：補助金の見直しをすすめるのであれば、大津おどり、あびこ踊りも、文化活動である。あるいは吹奏楽団も音楽文化という考え方ができるのではないか。文化協会との関係性はどうか、そのあたりも整理してほしい。

報告

①社会教育委員会議等令和4年度実施報告

《議事進行》

- ・事務局より社会教育委員会議等令和4年度実施報告を行う。

《主な意見等の内容》

質問・意見等、特になし。

②社会教育委員会議等令和5年度実施予定

《議事進行》

- ・事務局より社会教育委員会議等令和5年度実施予定について説明。

《主な意見等の内容》

質問・意見等、特になし。

③ 社会教育事業の概要

《議事進行》

- ・事務局より社会教育事業の概要について説明したのち、大学連携事業に関わる各委員より補足説明を行った。

《主な意見等の内容》

井上委員：和歌山大学との連携のなかで、南大阪地域大学コンソーシアム連携事業とあるが、どのような事業を実施する予定か。

事務局：例年12月ごろに、本市の地域産業である毛布産業から発生する廃材などを利用して、クリスマスツリーなどをつくるという小学生向けの工作教室のようなものを大学生が主体となって実施していただいている。

岡崎委員：泉大津市に大学がないので、大学生の力を地域に、生涯学習の場に引っ張り出せないかということでスタートした事業である。和歌山大学発の単位互換科目という位置づけになっている。

井上委員：弥生学習館のリニューアルイベントというのは、どのようなものを検討しているのか。

事務局：改修のために、半年近く臨時閉館するので、一旦離れてしまった来館者を戻す意味で、イベントの実施を検討している。内容は、市内外の博物館施設などから体験学習ブースを出展していただき、地域の方と子供たちみんなが楽しめるようなイベントにしていきたいと考えている。

井上委員：現在、桃山学院大学と大阪府立弥生文化博物館とでミュージアムグッズの企画を考えてみるという事業を共同でやることになっている。できたら、このリニューアルイベントでも連携できたらいいのではないかと考えている。

祐仙委員：図書館の年齢別の登録者数について、19歳～22歳の登録者が落ちている。泉大津に大学が無くても、その年齢の子が住んでいないわけではない。大学生の力が市に留まる工夫はないものか。

富山委員：私たちも泉大津市さんでいろんな事業を担当させていただく際には、できるだけ学生を連れてくるようにしている。市というフィールドを学生の学びの場にしたいと思ってやっている。大学生は大学に図書館があるので、そこをうまく利用していることの影響もあるかなと思う。

岡崎委員：最近の学生は忙しい。大学の図書館で課題をすることはあるが、一般の市民図書館に足を運んで、一般書から学ぶという時間の余裕がないのではないか。課題で出された図書は読むが、その図書は大学図書館にある。市民図書館の蔵書は彼らのニーズには合わない。それは市民図書館が駄目だということではなく目的がやや違うのかなという感じがする。

せっかく綺麗な図書館なので、図書館司書資格の実習や公開講座みたいなものでオープンにアプローチすれば、もっとよいのではないか。

事務局：図書館司書資格の実習は桃山学院大学などから受け入れを行っている。また、19歳～22歳の登録者数に関しては、全国的に見ると高い割合である。登録カードをつくるのを面倒と思う人たちが多くいるようである。この世代の利用者は多いと感じている。

井上委員：最近の大学生は、キャンパスにいる。時代の変化により、学生の動きが変わってきているということもある。

④社会教育事業の予算について

《議事進行》

事務局より社会教育事業の予算について説明。

《主な意見等の内容》

質問・意見等、特になし。

⑤教育施設再編計画の策定について

《議事進行》

事務局より教育施設再編計画について説明。

《主な意見等の内容》

質問・意見等、特になし。

⑥泉大津市立学校施設の使用に関する規則変更及び要綱制定について

《議事進行》

事務局より泉大津市立学校施設の使用に関する規則変更及び要綱制定について説明。

《主な意見等の内容》

木野委員：実費の徴収について確認だが、空調設備のガス代というのは任意で、利用したら支払う、施設使用料については今まで通り徴収しないということによいか。

事務局：お示しの通り。

木野委員：適用除外の第5条について、具体的にはどのような想定をしているのか。

事務局：（１）は市が主催の事業である。（２）は、市が民間事業者等に委託して実施する事業である。（３）は具体例の想定はないが、教育委員会で協議し、公益に値する事業であり、使用料を取ることがふさわしくない事業について無料で使っていただくことを想定している。

その他

①社会境域関係組織及び担当者一覧について

《議事進行》

事務局より社会境域関係組織及び担当者一覧について説明。

《主な意見等の内容》

質問・意見等、特になし。

②委員より自由意見

楠本委員：報告③で、19歳～22歳の図書館カード登録者が少ないということだったが、やはり大学の専門書のある図書館と、一般書を主とする市民図書館との住み分けがあってもいいと思う。数だけを気にする必要はないのではないか。

岡崎委員：泉大津市にある資源を学生が活用する、何かコミットしてもらいたいという思いは行政としてあるはずである。通過していく学生に対しても訴求するような、何らかの仕掛けがあったらいいのではないか。本当に工夫次第だと思う。ポスターを一つ作るだけでも、いろんなアピールができるかと思う。どうしても公共図書館というのは課題があって、事務局からの報告で19歳～22歳の来館者は多いということであったが、自習が目的である。自習というのは完全にその場所に対するメリットであって、コンテンツに対する意識ではない。コンテンツとしてどういう形でそういった世代にアプローチというかアピールできるのか、学生らの意識をこっちへ向けるための仕掛けが必要だろう。

終了 16：45